

平成19年3月 平塚市障がい者福祉計画(第II期)を策定 療育支援体制強化の具体策尋ねる

議員 平成十九年三月に本市では障害者福祉に関する基本的な施策の方向性を規定した「平塚市障がい者福祉計画(第二期)」を策定したが、基本となる理念および目標を聞きたい。



支援体制の充実が図られた療育相談室

健康福祉部長 本計画は、「障がいのある人もない人も、ともにいきいきと生活するまちづくり」を基本理念とし、①自立と就労支援・社会参加の促進②地域生活支援の充実③暮らしやすい生活環境づくりの推進の三点を基本目標としている。

議員 この計画に十九年度から新たに位置付けた主な施策を伺いたい。

健康福祉部長 高次脳機能障害や多動性障害等のさまざまな障害に関する啓発事業等である。

議員 この計画では、療育が必要な子供に対する支援体制の強化を掲げているが、その具体策を聞

きたい。

健康福祉部長 本市では療育相談室に保健師や社会福祉士、臨床心理士等を配置して、発達障害等の早期発見と適切な療育に取り組んできた。十九年度からは、新たに言語聴覚士や作業療法士を配置し、また、臨床心理士による相談を週四回から週五回に増やした。

議員 さらに療育支援の充実を図るため、今後のような取り組みを行うのか。

健康福祉部長 幼稚園・保育園職員の実習の受け入れ回数や幼稚園・保育園への職員の派遣回数を増やすことなどにより、療育支援に係る人材を育成していく。

障害者の権利擁護本市の取り組みは

議員 社会全体で障害者に対する差別をなくし、真の平等を目指した「障害者権利条約」が国連総会において採択されたが、障害者の権利擁護に関する本市の取り組みは

議員 障害者に対する介護放棄や虐待等にはどのように対応していくのか伺いたい。

健康福祉部長 相談支援事業所や児童相談所等の関係機関と連携して防止していきたい。

議員 核家族化の進行や、就労形態の多様化等により、保育所への入所待機児童数は年々増加していることだが、本市の

状況を聞きたい。

健康福祉部長 待機児童数は十六年度末には一五一人であったが、十八年度に公立保育所の定員数の増加を図り、また民間保育所の建て替えがあつたため、平成十九年四月一日現在では三五人となっている。

議員 今後も待機児童数は増加すると考えるが、どのように解消していく考えなのか。

市内8地区の地域包括支援センター 委託料の算定基準など問う

議員 高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を送るために必要なサービスを提供すべく、本市では十八年度から市内を八地区に分け、地域包括支援センターに事業を委託している。センターの設

置基準を伺いたい。

健康福祉部長 介護保険担当部長(以下、介護保険担当部長) 一か所当たりは十八年度から市内を八地区に分け、地域包括支援センターに事業を委託している。センターの設

置基準を伺いたい。

議員 委託料は定額であるが、対象者数や高齢化率は地域包括支援センターによって異なる。また介護予防ケアマネジメン

トに追われ、総合相談や包括・継続的ケアマネジメン

が、対象者数や高齢化率は地域包括支援センターによって異なる。また介護予防ケアマネジメン

トに追われ、総合相談や包括・継続的ケアマネジメン



地域包括支援センター(立野町)

増加見込まれる 保育所の待機児童 解消に向けた考え聞く

議員 核家族化の進行や、就労形態の多様化等により、保育所への入所待機児童数は年々増加していることだが、本市の

状況を聞きたい。

健康福祉部長 待機児童数は十六年度末には一五一人であったが、十八年度に公立保育所の定員数の増加を図り、また民間保育所の建て替えがあつたため、平成十九年四月一日現在では三五人となっている。

議員 今後も待機児童数は増加すると考えるが、どのように解消していく考えなのか。

健康福祉部長 保育環境を悪化させることなく、保育所の入所定員の増加や保育所施設の空きスペースの活用、また施設の

師等の職能団体や介護保険の被保険者、自治会・地区社会福祉協議会の各代表や学識経験者等が構成されている。地域の諸問題について運営協議会から専門的意見を聞き、地域との連携に活用していきたい。

議員 高齢者を支える仕組み包括ケア会議で構築

議員 介護保険制度を支える地域の人材を活用する取り組みについて聞きたい。

介護保険担当部長 地域包括支援センターは、地域住民、民生委員、社会福祉協議会などによる包括ケア会議の設立を目指している。この会議を通じて、高齢者を支える仕組みの構築が可能と考える。

議員 地域包括支援センターの運営を協議、評価する運営協議会の構成と地域社会との連携について伺いたい。

介護保険担当部長 運営協議会は、医師・歯科医

新設も視野に入れて取り組んでいきたい。

議員 地域において子供が健やかに育成される環境を整備するため、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園制度が開始された。待機児童を解消するためにも認定こども園が創設されるべきと考えるが、本市の見解を伺いたい。

健康福祉部長 本市としても認定こども園の創設により待機児童の解消が図られると考えるが、現在、創設に向けての申請や相談は受けていない。今後も関係部署等との連携を密にして、認定こども園創設に関する情報を提供していきたい。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

議員 今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。



議会	日誌
5・10 各派交渉会	6・13 定例市議会三日目
5・17 各派交渉会	6・14 定例市議会四日目
臨時市議会	議会運営委員会
総務経済常任委員会	6・15 定例市議会五日目
都市建設常任委員会	平塚市総合計画特別委員会
環境厚生常任委員会	6・19 総務経済常任委員会
教育民生常任委員会	都市建設常任委員会
議会運営委員会	総務経済委員協議会
5・21 議会報編集委員会	6・20 環境厚生常任委員会
5・25 議会運営委員会	教育民生常任委員会
6・1 定例市議会初日	6・21 平塚市総合計画特別委員会
議会運営委員会	6・26 議会運営委員会
6・12 定例市議会二日目	7・2 議会報編集委員会
	7・19 議会報編集委員会

暴力行為根絶に関する決議

長崎市長伊藤一長氏が市長選挙期間中の四月十七日に選挙事務所前で銃撃され、死亡するという凶悪な事件が発生したこと、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

今回の事件は、市民の平和な生活を守るために、政治家や市民の自由な言論活動に対し、凶弾とは、痛恨の極みであり、強い憤りを禁じえない。私たちは、この許しがたい行為に対し強く抗議するとともにこのようなことは絶対にあつてはならないことであり、亡くなられた伊藤一長市長に對し、心から哀悼の意を表すものである。

よって、我々は、今後とも全市民とともに、いかなる暴力行為も許さない社会環境の醸成に努め、暴力のない平和な社会の実現と民主主義擁護のため、重大な決意をもって臨むものである。

以上、決議する。

平成十九年六月二十六日
平塚市議会